

香川の
土地改良

みどり
水土里ネット香川

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



しだれ梅（仲多度郡まんのう町）

目 次

1. 本会第 145 回理事会開催2
2. 第 10 回新世紀むらづくり研修会開催3~4
3. 香川県農政水産部土地改良課が「農業農村整備事業広報大賞」を受賞5
4. 第 9 回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト入賞者決定6~7
5. 平成21年度農業水利施設情報データベース調査業務について8
6. 農地・水・環境保全向上対策における水路補修技術研修9
7. 平成 21 年度農業集落排水事業担当者会開催／通常総会のお知らせ10
8. 水土里の路ウォーキングのお知らせ11
9. 会と催し12

本会第 145 回理事会開催

◇◇◇◇◇第 52 回通常総会:3 月 25 日午前 10 時開催決定◇◇◇◇◇

本会の第 145 回理事会が 2 月 22 日、来賓に香川県農政水産部西原部長、土地改良課黒川課長、農村整備課高尾課長を迎え開催された。

就任後初となる理事会を招集した大山会長は、冒頭の挨拶で、来賓並びに出席者に対する謝辞の後、平成 22 年度の農業農村整備予算に触れ、



厳しい状況ではあるが、限られた予算のなかで土地改良事業を実施していかなければならないので、是非とも、役員並びに県関係者にご理解とご協力をいただきたいと述べた。また、本会の本年度事業実施状況の説明では、農地有効利用支援整備事業が、県下で 258 地区、295,280 千円が順調に実施されていること、水土里情報利活用促進事業については本年度末に県内全ての地図情報が整備され、平成 22 年度にはシステムが暫定運用されることなどを報告した。

来賓挨拶では、西原部長から、本会の日頃の農業農村整備事業の推進や県政各般にわたる協力に対するお礼の後、平成 22 年度の県の農業農村整備事業の取り組みについて説明され、国の予算が激減しているうえ県の財政事情も厳しいが、引き続きため池の整備や農業水利施設の整備などを進めていかねばならないと認識している。そのため、関係者ときめ細かな対応をとりながら事業を実施するので、協力と支援を願いたいと述べられた。

続いて行われた議事では、大山会長が議長となり第 1 号議案から第 12 号議案まで審議され、いずれも原案通り承認可決された。

- | | |
|----------|---|
| 第 1 号議案 | 平成 20 年度事業報告及び一般会計・特別会計収支決算並びに財産目録の承認について |
| 第 2 号議案 | 平成 21 年度賦課金の調定について |
| 第 3 号議案 | 平成 21 年度一般会計収支補正予算の理事会専決処分の承認について |
| 第 4 号議案 | 定款の一部改正について |
| 第 5 号議案 | 役職員等以外の者の旅費支給規程の制定について |
| 第 6 号議案 | 平成 22 年度事業計画並びに一般会計及び特別会計収支予算について |
| 第 7 号議案 | 平成 22 年度賦課金の賦課基準並びに賦課徴収の時期及び方法について |
| 第 8 号議案 | 一時借入金の借入及び借入限度額について |
| 第 9 号議案 | 平成 22 年度役員報酬について |
| 第 10 号議案 | 預託金融機関の決定について |
| 第 11 号議案 | 役員補欠選任について |
| 第 12 号議案 | 総会の開催について |

第 10 回新世紀むらづくり研修会開催 ～農村地域の活性化への未来展望～

2月4日、高松市番町の香川県社会福祉総合センター1階のコミュニティホールにおいて、平成21年度農村振興総合整備推進事業の一環として「第10回新世紀むらづくり研修会～農村地域の活性化への未来展望～」を開催した。

この研修は、近年、農業従事者の高齢化、後継者不足や農業収入の減少による離農などにより、耕作放棄地が増加の一途をたどるなど先人が培ってきた農業・農村の存続が危惧される状況下にあることから、多面的機能を持つ農業農村の理解を深めるとともに、地域リーダーの

育成、農業生産物の流通体系の確立や地産地消の推進などにより農業収入の増収を図り地域の農業を守るとともに、農業関係者の近未来農業への取組みに対する「意識改革」や「発想の転換」を図り、農村地域の活性化を促すための一助になることを前提に企画開催した。

冒頭、本研修会の主催者を代表して本会の山地常務理事から、会員の皆様へ日頃の農業農村整備事業への取組みに対するお礼と今後の様々な課題に対する協力要請等の挨拶があった。



挨拶をする山地常務理事



農村整備課 高尾課長



金子 照美氏

続いて、香川県農政水産部農村整備課の高尾課長から、「農村地域の活性化対策」について、各種制度の概要及び活性化に関するハード、ソフト両面からの施策等詳細な講演を頂いた。

続いて、ご繁忙の中、遠路名古屋市から駆けつけて頂きました NPO 法人田園社会プロジェクトの金子照美理事長から「到来間近！千年に一度の大チャンス・・・潰れる地域と億万長者の地域」と題して、貴重なご講演を頂いた。

先生は、地球規模での世界の情勢を様々な分野から仔細に分析され、既に20年後（2030年）の地域戦略を考えておられた。

近い将来、世界の石油、ガス等の燃料資源が枯渇し、これらは再生が利かない資源であり、唯一生き残るのがバイオスフィアの資源、すなわち「農」が究極の資源であり、特に日本の水田は連作障害も無く反当りの生産量も世界一であり、湿地と同じくらい豊かな生態系、極めて高い多面的機能を営々と発揮してきている。また、2000年代は水の時代であり、「水を制するものは世界を制する」とも言われ、現在日本の食料は、世界の農地

1,200 万 ha におんぶしており、当然これらの食料生産に必要な多くの水もおんぶしている訳である。20 年後は、世界の人口が増え、食料輸入が途絶え餓死する人も多くなり、自然インフラ時代を迎える。したがって、バイオ資源で 20 年後生き残る地域は、水、土、種が多くて人口の少ない地域が生き残る。地域戦略を立て農地を守る過疎高齢化地域ほど億万長者になれると断言されている。20 年はあつと言う間に来る。そのためには、10 年後、5 年後、来年、今年はどうしなければならないか。それぞれの地域で戦略を立て地域で「農」資源を守って欲しいと結ばれた。

続いて、教育評論家の木村斉先生（金万亭出臍）恵子（金万亭お稽古）御夫妻による「自然に逆らわない庭」の紹介及び「落語」の熱演を披露して頂いた。

先生は、高校の生物の教員生活から早期退職し、落語、一級紙技士と多芸な「人生二毛作」を目指す一方、ドイツ、スイス、オランダ等ヨーロッパの農業視察、また、ビオトープの勉強もされ、200 坪もある家庭の庭造りにも励まれている。また、落語の「前座」、「二つ目」、「真打」の語源もジョークを交えながら詳細に説明された。

お二人の講演の間中館内は笑顔と笑いの渦に包まれ非常に和やかな雰囲気を醸し出していた。

今回の研修には、311 名が参加され、286 席の館内には立ち席をお願いするなど主催者側の不手際にも関わらず盛会裏に研修会を終焉することが出来た。

また、参加者のアンケートの集約においても、中には手厳しい意見も頂いたが、86%の方が講演は良かった。97%の方が同僚及び関係者に講演内容を伝えたい。99%の方が今後継続して欲しいとの好評価を頂き主催者一同安堵しているところである。



木村 斉氏



木村 斉（金万亭出臍）・恵子（金万亭お稽古）ご夫妻

何れにしても、この研修で得た究極の資源である「農」を地域の資産として地域住民一丸となって守り育てていただきたいものである。

最後に、ご繁忙の中ご講演を頂いた講師の先生方に謝意を表し研修会の報告とする。



香川県農政水産部土地改良課が「農業農村整備事業広報大賞」を受賞

～「田んぼと水の仕組みについて」の出前授業を実施～

香川県農政水産部土地改良課は、ゼロ予算事業（ため池を題材とした出前授業）で実施している「田んぼと水の仕組みについて」の出前授業で、全国農村振興技術連盟が開催する「農業農村整備事業広報大賞」の最優秀賞である広報大賞を受賞。

広報大賞は、全国農村振興技術連盟（農村振興施策の確立と関係者の技術力の向上を図ることを目的

に昭和 22

年に設立)

が、農村振興の重要性

や社会的意義

について国民一般から広く理解を得るために地域活動や広報

活動を行った団体のうち、特に顕著な功績のあった団体に対して表彰を行うもので、本年度の大賞に本県と長野県上田市の 2

団体が選ばれた。また、優秀賞 4 団体、奨励賞、企画賞にそれぞれ 1 団体が選ばれた。



平成 21 年度 広報大賞 受賞団体



平成 21 年度 表彰式

【活動内容】

- ・ 出前授業は、昨年度より実施しており、本年度は、県・市町教育委員会と連携し、県内 20 校の小学 4、5 年生約 1,400 名を対象に各校に赴き、ため池の役割、歴史や「謂われ」などについて授業を実施。
- ・ 授業は、クイズを交えたり、説明の中で紹介した道具（線香水、亀の子石等）を用意して、見学や実体験するなど、小学生にわかりやすく、また興味を持てる方法で実施。



▲ 出前授業 実施状況
(観音寺市立柞田小学校)



◀ 出前授業 実施状況
(高松市立太田南小学校)

第 9 回 かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト 入賞者決定

香川県が平成 12 年度から実施している「かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト」の審査会が、3 月 5 日、香川県庁において行われた。

このコンテストは、写真を通じて県内の伝統文化や豊かな自然を再発見してもらおうと実施しているもので、本年度は 152 点の応募の中から最優秀賞には、三豊市の山崎雅信氏が撮影した「粃殻を焼く頃」が、優秀賞には観音寺市の香川慎吾氏の「里の秋」、高松市の川北正人氏の「春景」、さぬき市の木村真司氏の「早乙女行脚」、三豊市の山崎典子氏の「おやつ時」の 4 点が、また香川県農業協同組合中央会長賞には綾川町の谷口昇氏の「後継ぎのある農家」が、更には香川県土地改良事業団体連合会長賞には三豊市の石角尚義氏の「鬼蓮咲く池」が選ばれた。このほか入選 5 点、佳作 10 点がそれぞれ入賞した。

最優秀賞作品は、財田町に広がる田んぼに粃殻を焼く煙がたなびき、鳥が空を羽ばたく農村風景を撮影したもので、近年ではなかなか見られなくなった風景を撮影しており印象的であったと評価された。

この入賞作品は 4 月 19 日から 23 日まで県庁東館 1 階ギャラリーで展示されることになっている。

最優秀賞



「粃殻を焼く頃」 山崎雅信

優 秀 賞



「里の秋」 香川 慎 吾



「春景」 川北 正 人



「早乙女行脚」 木村 真 司



「おやつ時」 山崎 典 子

香川県農業協同組合中央会長賞

香川県土地改良事業団体連合会長賞



「後継ぎのある農家」 谷口 昇



「鬼蓮咲く池」 石角 尚 義

平成 21 年度農業水利施設情報データベース調査業務について

本業務は、10月に香川県より緊急雇用創出事業基金事業で農業水利施設（県営で造成）の電子化業務を受託したものである。

この「緊急雇用創出事業基金事業」は雇用失業情勢を踏まえ、国の緊急雇用対策の一つとして、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出することを目的として実施されている。事業の実施に際して、ハローワーク（公共職業安定所）を通じて新規労働者を募集し、雇用創出を図っている。

業務内容は、効率的な業務・事務作業の向上を図るために、昭和 17 年より造成された県営事業（下表参照）を現地調査し、将来的にストックマネジメント事業に取り組むための機能診断をする業務（業務量 L = 416km）である。また、過去に実施した膨大な資料（業務量 L = 583km）を電子化し整理することである。業務を進める上で多くの人と機材が必要なため、県下を 3 ブロック（東讃管内、中讃管内、西讃管内）に分け現地調査に 27 名、データベース化に 15 名を配置し、合計 42 名で業務を行っている。

調査業務内容

事業名	造成着手年度	現地調査 業務量	データベース化 業務量
かんがい排水事業	昭和 17 年度	1 2 7 km	2 6 4 km
湛水防除事業	昭和 3 8 年度	7 km	1 3 km
附帯県営香川用水地区	昭和 4 6 年度	2 0 8 km	2 2 5 km
畑地帯総合土地改良事業	昭和 4 7 年度	5 3 km	5 3 km
排水対策特別事業	昭和 5 4 年度	1 2 km	1 9 km
基幹水利施設補修事業	平成 9 年度	2 km	2 km
農業用水再編対策事業	平成 1 2 年度	7 km	7 km
計		4 1 6 km	5 8 3 km



現地調査



データベース化

農地・水・環境保全向上対策における水路補修技術研修

平成 21 年度の農地・水・環境保全向上対策の一環として香川県東讃・中讃・西讃地域協議会の主催で、県下の活動組織を対象として、農業用水施設の長寿命化を図るために活動組織自ら補修等を行うことが可能な簡易補修技術の習得を目的として、水路補修技術研修が開催された。

各管内での研修会は晴天に恵まれ、多数の活動組織の方々が参加して熱心に専門技術者より補修工法についての説明を受けた。管内の研修内容は下表のとおり

管内の研修内容

管内	開催日	参加活動組織	参加人数	研修内容
東讃地域協議会	12月24日 12月25日	55組織	156名	開水路の目地補修 及びゲートの塗装
中讃地域協議会	12月17日	57組織	111名	開水路の目地補修 及びゲートの塗装
西讃地域協議会	12月24日	51組織	158名	開水路の目地補修 及びゲートの塗装



東讃管内での研修



中讃管内での研修



西讃管内での研修

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
2 月 12 日	中部地区土地改良協議会第 2 回役員会	高 松 市
16 日	平成 21 年度第 3 回監事会	高 松 市
〃	第 4 回水田魚道に関するワークショップ	岡 山 市
〃	平成 22 年度土地改良施設維持管理適正化事業ヒアリング	東 京 都
17 日	水土里ネット賦課金・会計システム研修会	高 松 市
〃	都道府県土地改良事業団体連合会長・事務責任者会議	東 京 都
18 日	香川県農業構造改善協会平成 21 年度幹事会	高 松 市
〃	平成 21 年度第 2 回農業農村整備広報編集委員会	高 松 市
〃	大川地区土地改良協議会第 2 回役員会	さぬき市
〃	大川地区土地改良協議会第 52 回通常総会	さぬき市
〃	三豊市担い手育成総合支援協議会担当者会	三 豊 市
18 日 ～19 日	平成 21 年度交換分合全国研修会	東 京 都
19 日	仲多度土地改良事業推進協議会第 2 回役員会	善通寺市
22 日	第 145 回理事会	高 松 市
〃	香川県農業会議常任会議員会議	高 松 市
〃	農業農村整備広報会議（平成 22 年度活動計画）	東 京 都
〃	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東 京 都
24 日	高松市担い手育成総合支援協議会総会並びに高松市農業振興地域整備促進協議会総会	高 松 市
25 日	平成 21 年度第 11 回観音寺市担い手育成総合支援協議会幹事会	観音寺市
〃	平成 21 年度農業農村整備技術強化対策事業第 2 回ブロック研修協議会	岡 山 市
25 日 ～26 日	「土地改良区による事前積立」に係る説明会	東 京 都
26 日	第 2 回香川用水地区土地改良施設用地調整検討委員会	高 松 市
3 月 2 日	小豆郡土地改良事業推進協議会通常総会・土地改良相談	小豆島町
3 日	平成 21 年度農業農村整備技術審査向上対策事業第 2 回企画評価委員会	東 京 都
5 日	平成 21 年度換地処分実務研修会・平成 21 年度土地改良換地土部会	高 松 市
〃	仲多度土地改良事業推進協議会平成 22 年度通常総会	琴 平 町
8 日	中部地区土地改良協議会平成 22 年度通常総会	高 松 市
〃	満濃池土地改良区第 60 回通常総代会	善通寺市
8 日 ～9 日	平成 21 年度水土里情報システム運用・管理説明会議	東 京 都